

令和 8 年 2 月 19 日

文教厚生常任委員会

委員長 ひさなが 信也 様

文教厚生常任委員 橋本 憲治

文教厚生常任委員会行政視察報告書

下記の日程で行政視察を実施しましたので、別紙のとおり報告します。

記

1. 視察期日及び視察先

令和 8 年 1 月 26 日(月)

福岡県福岡市

「親亡き後の住まいについて」

「障がい者グループホーム開設支援事業の取り組みについて」

株式会社カムラック(福岡県福岡市)

「障害者就労継続支援事業について」

2. 視察参加名簿

委員長 ひさなが 信也

副委員長 江原 健二

委員 林 哲也

委員 岩藤 睦子

委員 綾城 美佳

委員 橋本 憲治

委員 尾崎 貴夫

委員 田村 継

以上 8 名

3. 視察報告・所感 別紙

(別紙)

視察先	福岡県 福岡市
視察日時	令和 8 年 1 月 26 日(月) 10:00~11:30
視察項目	親亡き後の住まいについて 障がい者グループホーム開設支援事業の取り組みについて
対応部署名	福岡市福祉局 障がい者部 障がい施設福祉課長 福岡市福祉局 障がい者部 障がい施設福祉課 施設指導第 2 係長 福岡市福祉局 障がい者部 障がい施設福祉課 施設指導第 2 係員
視察内容	
<p>○重度障害者の受け入れ先不足への対応</p> <p>○親亡き後問題への備え</p> <p>○グループホーム参入促進の制度設計の確認</p> <p>○重度障害者の受け入れ不足への対応</p>	
所 感	
<p>障害者グループホームの利用者は、全国的に見ても増加傾向にあり、福岡市では、事業者数、定員数共に増加、障害福祉計画の見込量を上回る伸び。</p> <p>しかし、重度対応型は、依然不足している。</p> <p>これの対応策として、強度行動障害の補助額を、一人当たり 年 80 万円としている。</p>	

(別紙)

視察先	株式会社カムラック（福岡県福岡市）
視察日時	令和8年1月26日(月) 13:30~16:00
視察項目	障害者就労継続支援事業について
対応者名	カムラックグループ代表 賀村 研
会社概要	
視察内容	
就労支援事業 A型 B型 移行支援事業 カムラックグループ代表の会社設立の思い	
所 感	
<p>最初に私の目に飛び込んだのは、入口上部の看板にある COME LUCK だった。 幸せを呼ぶ？ カムラックグループ代表 賀村 研氏に聞くと、社員（就労困難）たちに、幸運がめぐって来ます様に、とのこと。 社長いわく、私は彼等を就労困難者ではなく、一人前として仕事を与えます。 だから仕事の対価は、健常者と同等に戴きます。 一人ひとりが自分の役割を持ち、意欲的に働く姿から、この事業所が利用者にとって大切な居場所となっていることを感じました。 働くことを通じて、達成感や自信を得られる環境が整っていることが、皆さんの生き生きとした姿に表れていると思いました。</p>	